

竜西だより 12月号



令和2年12月1日

竜王町立竜王西小学校

校長 武久 雅則

学校教育目標 自ら学ぶ意欲と豊かな感性を持ち、共にやり抜く実践力のある子どもの育成
～学び きらきら 心 うきうき 行い どんどん～
スローガン みんなで生き生きがんばる竜西っ子～みんなが楽しい！竜王西小学校！～

2学期の締めくくり～順調に教育活動ができることに感謝しながら～

全国において新型コロナウイルスの感染拡大が心配され、予断を許さない状況が続く中ではありますが、この2学期は、運動会をはじめ修学旅行や校外学習などの学校行事も無事に実施でき、臨時休校にかかる学習の遅れもほぼ回復できていることに胸をなで下ろしています。

毎日子どもたちが学校に登校し、学習（授業）や行事ができ、学校内や運動場に子どもたちの声が響いている…そんな「普通の学校生活」が送れていることに心から感謝しています。「普通にできる」ことは決して「あたりまえ」でなく、本当に「ありがたい」ことだと痛感させられる毎日です。

さて、早いものでもう12月（師走）に入り、2学期の締めくくりの時期を迎えました。引き続き新型コロナウイルスやインフルエンザ感染予防を徹底しながら、学習のまとめや振り返り（自分を振り返り、これからの生き方・目標を考える）をしっかりと行っていきたくと思います。

保護者の皆様におかれましては、引き続き感染予防のための意識づけや声かけとともに、2学期の子どもたちの成長を十分に誉めていただき、励ましの声をかけていただきますようよろしくお願いいたします。



チャレンジマラソンに取り組む全校児童

6年生修学旅行～11/3 鳥羽・菅島での離島体験&11/4 長島スパークランド～

コロナ感染拡大防止の観点から「宿泊なし」になった修学旅行でしたが、自然体験（離島体験）&仲間づくり・思い出づくりをテーマに「日帰り旅行×2日」でプランを練り直し実施しました。

1日目は鳥羽湾に浮かぶ菅島での離島体験。竜王町とは違う自然（海・離島）・産業（漁業）・文化・人々の暮らしに多くのことを感じ、考え、学びました。2日目は長島スパークランドでの思い出づくり。班別に自由に遊園地を楽しみました。「みんな」が楽しめるように、班で相談しながら協力して楽しむことができました。約束や公共マナーも意識しながら行動できていました。コロナ禍における修学旅行。運動会と同様、フルスペックと言うわけにはいきませんが、子どもたちは「前向きに楽しむ」意識を強く持って主体的に学び、楽しみ、行動でき、思い出多き2日間になりました。



菅島へは各学級チャーター船で20分



漁業には水揚げされた魚介類がいっぱい



島の人の暮らしを知る



果てしない水平線と潮の香り…琵琶湖とは違う大海原の風景



絶叫系が好きな人もいれば、逆に苦手な人もいます。班全員の意見を一致させることは難しく、どこかで「折り合い」をつけなければなりません。お互いの好みを尊重し、絶叫系とそうでないものを交互に乗ったり、部分的に班を二つに分けて行動したり、先生と相談して班を組み替えたり・・・子どもたちなりに考えて工夫しながら臨機応変に楽しめていたようです。ちゃんとお土産を買う時間も考慮して行動を計画したり、「食べ歩きはしない」というマナーが守られていたり、何よりも最終の集合時間にきちんと集まったこと、全体の整列が早かったことなど、6年生の「いいところ」が随所に見られて、とても楽しい一日になりました。

5年生フローティングスクール～母なる琵琶湖を感じる・考える～

コロナの影響で宿泊や他校との交流は叶いませんでしたが、お天気は晴れ、そしてほぼ無風…これ以上ない好条件のもと、琵琶湖を航海することができました。乗船した学校は竜王西小学校と日野町の必佐小学校、桜谷小学校の3校。朝9時半に琵琶湖大橋港を出発し、一旦琵琶湖大橋をくぐって南湖へ、そして再び北上し、写真にある沖の白石を巡り、その後近江八幡の沖島水道を通して、琵琶湖大橋港にもどる航路でした。

うみのこ航海中に、いくつかの「びわ湖学習」を行いました。びわ湖の水は場所によってどれくらい透明度が違うのかを調べる「透視度調査」や、一旦汚れてしまった琵琶湖の水を元通りにきれいにするには何年くらい必要かを調べる「水の汚れ回復実験」、他にも顕微鏡を使っての「プランクトン観察」、「びわ湖の漁法を学ぼう」など、たくさんびわ湖について学びました。

我々にとっての「母なる湖 琵琶湖」について学び、これから琵琶湖の環境をどう守っていくのか考えていきます。『かけがえのないMotherLake 琵琶湖…預かっているのは滋賀県（私たち）です。』



滋賀県内のすべての小学5年生が学習船うみのこに乗船し、琵琶湖を巡りながら学習するフローティングスクールは昭和59年度から始まりました。平成30年度の航海から写真の「新船うみのこ」に代替わりしました。



朝の冷え込みの影響か、水面には霧（もや）がかかり、霞越しに見える比良山や鈴鹿山脈の風景がなんとも幻想的で絶景でした。「わあ、きれい」と子どもたちから自然と感嘆の声が上がっていました。



北湖と南湖の水、また40年前の南湖を再現した水や日野川の水の透明度を調べました。特に40年前の南湖の水の透明度は低く、当時から琵琶湖が汚れていた時期だったことが分かりました。



近江八幡の沖島水道を通る時、沖島小学校の子どもたちが大きな旗を振って歓迎してくれました。交流はできなくても、他の小学校の子どもたちと心が通じ合った瞬間でした。



鏡山プロジェクト進行中！ ～コミュニティ・スクール竜西小 ふるさと学習推進プロジェクト～

去る11月14日（土）、最高のハイキング日和に恵まれ、学校運営協議会による鏡山調査を行いました。学校運営協議会の委員やその家族、学校の教職員も参加して、実際に鏡山のハイキングコースを歩き、子どもたちの「ふるさと学習」に活用できる学習教材や学習フィールドについて探索しました。

アウトレット地先から登山道に入り、鳴谷渓谷から鳴谷池、雲冠寺跡を巡り鏡山頂上へ、そして竜王宮にお参りした後は、かなり厳しいアップダウンが繰り返される尾根沿いを踏破し、星ヶ崎城跡と西光寺跡を見学して道の駅かみの里をゴールとしました。

善光寺川の源流でもある鳴谷渓谷や鳴谷池のとてきれいな景色や、聖徳太子の時代までさかのぼる貴重な史跡等、鏡山の「宝物」がたくさんありました。

また、途中、あえんぼの花（コバノミツバツツジ）をはじめいろんな植物の説明を受けたり、ウラジロ（お正月に鏡もちの下に敷くシダの葉）を使った遊びを教してもらったりもしました。

ひとつ残念だったのは、木が茂っていて、鏡山の上から「竜王町」が一望できるスポットがないことでした。もう少し展望台等が整備されればと感じました。

今後、学校運営協議会と学校で「鏡山の宝物」を子どもたちの学習にどう組みこんでいくか…鏡山プロジェクトを具体的に進めていきたいと思えます。



12月 行事予定

- 2日（水） 自主公開授業研究会 14:55 一斉下校
 - 4日（金） 5年校外学習（琵琶湖博物館他）
人権週間（12/10まで）
 - 5日（土） PTA 環境整備・通学路点検・遊具点検
 - 7日（月） 5、6年委員会活動
 - 10日（木） 人権集会（校内放送による）
 - 14日（月） クラブ活動
 - 15日（火） 5年生性教育
 - 16日（水） 移動図書館
 - 19日（土）・20日（日） ファミリー読書
 - 21日（月） フッ素洗口終了・午後短縮授業
 - 24日（木） 給食終了
 - 25日（金） 2学期終業式・大そうじ
 - 26日（土）～1月5日（火） 冬季休業日
- ※1月6日（水） 3学期始業式

竜王西小学校ホームページ

子どもたちの様子や学校の取組をブログで紹介しています。右のQRコードからご覧ください。

